

衆楽園秋景

撮影 徳田名誉院長

シリーズ 『 肝胆膵領域 』

第4回は当院 陽子線治療センター 副センター長
脇 隆博 医師が『 肝胆膵領域の陽子線治療 』に
ついてお伝え致します。

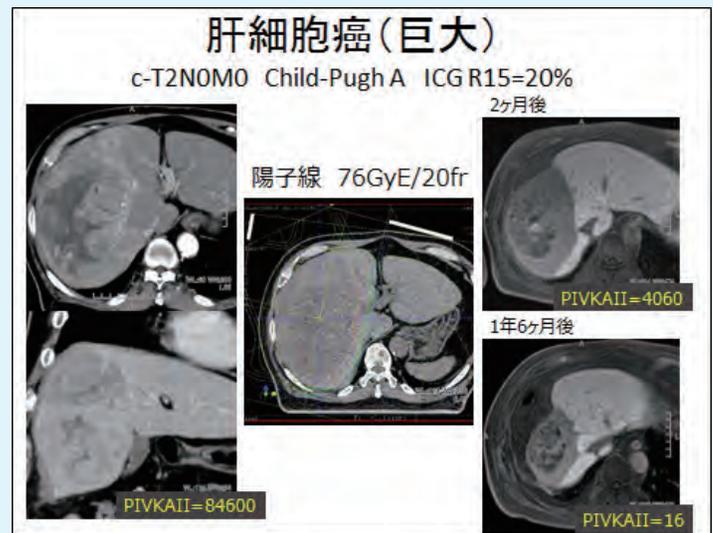


陽子線治療センターの外観とエントランス

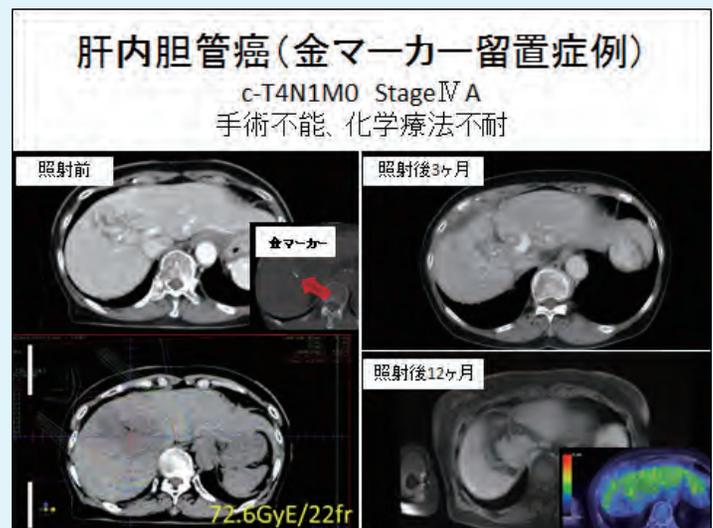
昨今、新しいがん治療法の研究が盛んに行われており、中でも注目されているものの1つが陽子線治療です。当院のがん陽子線治療センターは、本邦で11施設目、中国四国地域では初となる陽子線治療施設で、2016年4月より治療を開始しました。同年7月には先進医療実施施設として認可を受け、原発性肝がんの

治療を開始し、翌8月より胆管がん、膵がん、転移性肝がんの治療を開始しました。2017年9月時点で35症例（うち、肝:23、胆:3、膵:4、転移:5）の治療を行いました。

原発性肝がんは、肝細胞がんと肝内胆管がんの治療を行っています。病変が肝内の3-4区域内までに限局していること、Child-Pugh分類A～Bであること、などが適応基準のおおまかな目安となります。従来方法では根治治療が難しかった巨大肝がんや脈管腫瘍栓を伴うような症例でも陽子線治療を行うことで根治を目指すことが可能となっています。



胆管がんは切除不能または再発性胆管がん、膵がんは切除不能局所進行膵がんまたは再発性局所進行膵がん、が適応となる病態です。転移性肝がんは、3個以内であること、原発巣が何らかの局所治療で制御されていること、肝外に転移病変がないこと、が条件となります。



陽子線治療の適応を決定するために症例ごとにカンファレンス（カンサーボード）を実施し、治療に関係する放射線治療医・放射線診断医・内科医・外科医が集まって協議を行っています。また、陽子線治療と抗がん剤治療を併用した化学陽子線治療や、より精度の高い照射を目指した金マーカー留置術も積極的に行っています。

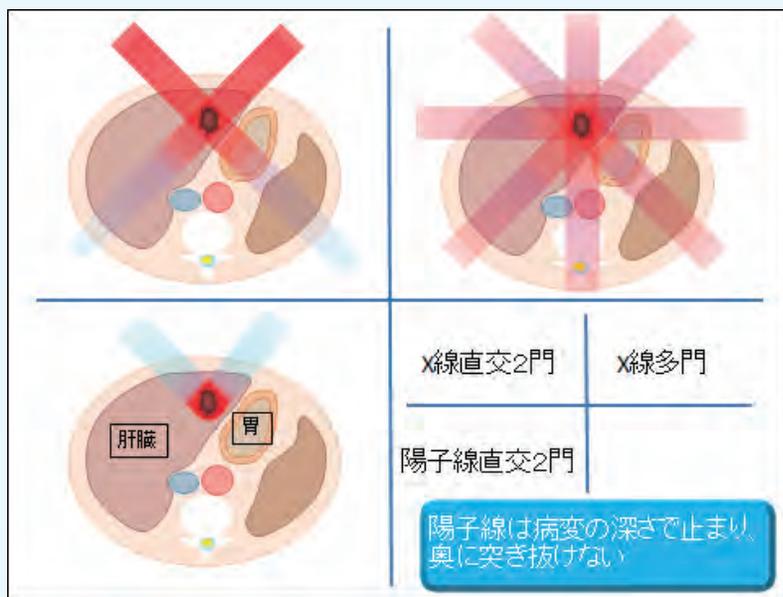
陽子線治療は従来の放射線治療（X線治療）と比べて病変に放射線を強く当てながら、病変周囲の正常臓器への被曝を少なくすることが出来ることが特徴です。そのため、より根治性が高く副作用が少ない治療が可能となります。

陽子線治療の問題点はその治療費用です。成人患者さんの場合、保険診療では

なく先進医療として治療が行われるため、陽子線照射技術料として 288 万 3 千円という高額な費用が必要となります。

現在、陽子線治療の保険収載を目指して、肝細胞癌や肝内胆管癌、前立腺癌などの疾患の特定病態に対して、当院も含めた多施設共同前向き臨床試験が進行中です。

これまで肝胆膵領域のがん治療はごく一部の病態を除いて、放射線治療で根治を目指すことが難しく、緩和・姑息治療の役割を担うことがほとんどでした。陽子線治療が新たな治療選択肢に加わったことで、根治を目指す治療を提供できるようになったことは患者さんにとって大きな福音です。今後は岡山県北のみならず岡山県全体、さらには中四国地域の患者さんに最善のがん治療を提供できるよう、日々努めてまいります。



放射線治療センター副センター長（陽子線部門）
日本放射線腫瘍学会および日本医学放射線学会放射線治療専門医
がん治療認定医

脇 隆博

連携登録医懇親会を開催致しました

去る平成 29 年 11 月 16 日（木）津山市の鶴山ホテルに於いて、津山中央病院連携登録医懇親会を開催致しました。日頃よりお世話になっている津山市医師会、美作市医師会、真庭市医師会、勝田郡医師会、苫田郡医師会、久米郡医師会における連携登録医の先生方のほか、行政機関、コメディカルスタッフ等を含め、60 もの医療機関から総勢 115 名と昨年を上回る方々にご参加頂きました。この場をお借りしまして改めて感謝申し上げます。

林 同輔 院長の開会挨拶の後、第 1 部は研修会として北村 卓也内科部長による「私の考える糖尿病診療」、藤田 浩二総合内科・感染症内科医長による「総合内科・感染症内科はじめました」、野上 智弘 乳腺外科部長による「当院乳腺外科について」、繁光 薫 外科部長による「食道癌の診断と治療の進歩」を行いました。また、お知らせとして、福田 祥二 整形外科部長が「整形外科 2 月からの完全予約制への移行について」を発表致しました。

第 2 部は「顔と顔の見える関係、心の通う連携づくり」を目的に、森本 直樹 院長代理の挨拶、大下 順正 津山市副市長のご挨拶、薄元 亮二 津山市医師会長の乾杯にて懇親を深めました。

地域の医療連携を行う上で、『顔の見える関係づくり』の機会を設けるこの懇親会は大変重要な意味を持つものであり、地域の先生方やスタッフの方と親睦を深めることができ、有意義な時間を過ごすことができました。薄元 亮二 津山市医師会長を始め、地域医療に貢献されている先生方と協力し、地域包括ケアシステムの構築を進め、岡山県北の医療を末永く守っていく、この会がその一助になれば幸いです。

4 月に発行を開始しました、あんしん連携カード『結【ゆい】カード』を積極的に活用し、『心の通う連携づくり』を目指し、今後もより充実した地域との連携体制を築き、地域医療の更なる発展に貢献していきたいと考えております。

事務部長 安藤 始



林 院長



大下 順正 津山市副市長



森本 院長代理



薄元 亮二
津山市医師会長

地域連携室からご報告

陽子線セミナー in 倉敷 を開催しました

平成 29 年 11 月 8 日（水）倉敷市連合医師会にご協力頂き、倉敷市保健医療センターにて『陽子線治療講演会』を開催致しました。31 施設 59 名の医師やコメディカルの方々にご参加頂きました。

陽子線治療はがん治療の新しい選択肢の 1 つとなっております。適応のご相談から治療のご依頼までお気軽にご連絡下さい。

今後も医師会単位で講演会を続けていきたいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

地域連携室主任リーダー
高橋 稔



放射線治療センター 副センター長
脇 隆博 医師



倉敷市連合医師会 山田 斉 会長



香川県立中央病院に「陽子線治療外来」が開設されました

現在、津山中央病院・岡山大学病院に「陽子線治療外来」が開設されていますが、10月より香川県立中央病院におきましても「陽子線治療外来」が開設されました。

津山中央病院 放射線治療センター副センター長（陽子線部門）の脇 隆博 医師が第2・第4木曜日担当させていただきます。四国地域の皆様は是非ご利用下さい。



外来診療担当医の変更について

津山中央病院 内科、循環器内科に変更がありました。別紙、外来診療担当医表にてご確認ください。ホームページ (<http://www.tch.or.jp>) でもご覧いただけます。

研究会、教室のご案内

■美作地区胸腹部画像診断研究会

日時／通常毎月第4金曜日 19:00～(8・12月を除く)

場所／津山中央病院 医療研修センター 2階講義室

※変更がある場合がございますので、詳細はお問合わせ下さい



■津山中央記念病院 糖尿病教室

日時／毎週火・水曜日 13:30～(30～60分程度)

場所／津山中央記念病院2階会議室

■津山中央病院 糖尿病教室

日時／毎週月曜日 13:00～14:00

場所／津山中央健康管理センター3階A会議室

CCセミナー(地域連携セミナー)のご案内(12月)

当院では、地域連携セミナーとして、CCセミナーを開催しています。地域の医療従事者の方に自由にご参加いただけます。

日時:平成29年12月8日(金)19:00~20:00

内容:『抗菌薬の適正使用』

講師:静岡がんセンター 感染症内科 伊東 直哉 先生

場所:慈風会記念ホール

日時:平成29年12月12日(火)19:00~

内容:『脳梗塞の治療と当院の現状』

講師:津山中央病院 脳神経外科部長 小林 和樹 医師

場所:医療研修センター2F 講義室

日時:平成29年12月22日(金)18:30~20:00

内容:『耐性菌について(仮)』

講師:日本医科大学付属病院 医療安全管理部感染制御室 根井 貴仁 先生

場所:慈風会記念ホール

私たち津山慈風会は、
地域の皆さんに
やさしく寄り添います

津山中央病院 地域連携室
〒708-0841 津山市川崎 1756
TEL 0868-21-8111 FAX 0868-21-8201
メール tcnm@tch.or.jp
HP <http://www.tch.or.jp>